講義名	研究演習Ⅰ
講義コード	12049
担当教員	羽森　直子
開講期・曜日・時限	後期 月曜日 ２時限
備考	

ゼミ

3．学部ゼミ・学科ゼミ

学部

経済学部

学科

演習名

羽森直子ゼミナール(金融論)

概要説明

皆さんもニュースなどで「経済」や「金融」などの言葉を耳にしない日はないくらいだろうと思う。当ゼミでは、①日本経済や、経済学の中の「金融論」という分野についての知識を深めること、②「書く・話す・聞く」というオールラウンドな力を高めること、の2点を目標としている。以下、それぞれの年次での概要を述べる。

2年次：①ニュース時事能力検定試験（N検）の問題演習等。②教科書の発表、③3分間スピーチ、④長期休暇中の宿題から構成される。②では、教科書の担当箇所について、順番に報告をし、質疑応答を行う。その際、必ず要点をまとめたレジュメを作成し、全員に配布すること。教科書は未定だが、2017年度は「ゼロからわかるビットコイン」（週刊東洋経済）、2018年度は村上世彰「いま君に伝えたいお金の話」（幻冬舎）を使用した。③については、与えられたテーマについて3分間スピーチを順番に実施する。④については、長期休暇中は新聞記事の要約などのレポート課題が課される。

3年次：前期は、2年次と同様のスタイルで展開するが、司会・運営はゼミ幹事（学生2名程度）が行う。教科書として、2017年度は伊藤元重「経済を見る3つの目」（日経文庫）、2018年度は植田和男「大学4年間の金融学が10時間でざっと学べる」（ＫＡＤＯＫＡＷＡ）を使用した。後期は、卒業論文に関する研究発表を開始する。卒業論文のテーマの決定に関しては、基本的にゼミ生の自由意思が尊重される。3年次も、3分間スピーチは継続して実施する。工場見学など校外学習、茶話会も実施予定である。

4年次：各自の卒業論文について研究発表を行い、論文の作成にあたる。

なお、当ゼミでは6月と11月に実施される「ニュース時事能力検定試験（N検）」を受験することを推奨している。

ゼミの雰囲気については、備考のゼミ生から後輩へのメッセージを是非ご覧ください！

学位

博士（経済学）

教員よりの要望

無断欠席は禁止します。出欠チェックは厳しく行います。

ゼミでは恥ずかしがらずにどんどん発言し、積極的に参加してください。当ゼミでは、無言で90分やり過ごすことは許されません。

ゼミでの事務連絡は基本的にメールで行います。最近、ＬＩＮＥのチェックは怠らないが、それ以外のスマホやＰＣアドレス宛のメールをチェックしない学生が急増しています。いずれ就職活動では企業との連絡で使用するアドレスかと思いますので、今のうちからこまめにチェックする習慣をつけておいてください。

とまあ、いろいろと書きましたが、最低限のお約束が守れて、やる気と元気があって、そして経済や社会の動きに少しでも関心のある方ならどなたでも大歓迎です。

教員英字氏名

Naoko　HAMORI

研究室

研究棟Ⅱ 2714研究室

最終学歴

神戸大学大学院経済学研究科博士後期課程

主な研究活動・社会活動・研究業績

著書：
『Introduction of the Euro and the Monetary Policy of the European Central Bank』with S.Hamori, World Scientific Publishing 2009.
『ドイツの金融システムと金融政策』（1998年中央経済社）
『欧州中央銀行の金融政策』（2002年中央経済社）等

論文：
「ドイツ経済の構造変化とユーロ危機」（2018年流通科学大学論集第26巻第2号）
「ドイツ労働市場改革の功罪」（2017年流通科学大学論集第26巻第1号）
「ドイツポストバンクとゆうちょ銀行の違い」（2016年月刊金融ジャーナル2月号）
「ギリシャ債務危機に関する分析」（2016年流通科学大学論集第２４巻第2号
「欧州中央銀行のユーロ危機対策」（2015年流通科学大学論集第23巻第2号）
「ユーロ危機の原因」（2013年流通科学大学論集第22巻第1号）
「ドイツの銀行構造について」（2012年流通科学大学論集第20巻第2号）
「ドイツの金融システムを構成しているものは何か？」
（2011年流通科学大学論集第19巻第2号）
「ユーロ地域の拡大の現状と展望」（2009年流通科学大学論集第18巻第1号）
「ＥＵ通貨統合の歴史的背景」（2009年流通科学大学論集第17巻第２号）
"Sources of Real and Nominal Exchange Rate Movements for the Euro," with S. Hamori, Economics Bulletin, Vol.6 No.32,2007.

主な卒業論文のタイトル

電子マネーの現状とその将来像、ＥＵ通貨統合による参加国・非参加国の失敗と成功の要因、日本版金融ビッグバン、日本の税制問題、クレジットカード会社について、中国東部に進出する日系企業について、日本とドイツの新興市場における資金の流れ、プロ野球の経済効果と地域への影響、市民マラソン大会の経済効果、日本の公的年金制度、石油問題について、トヨタに学べの信憑性、ＳＯＮＹのゲーム機ＰＬＡＹ　ＳＴＡＴＩＯＮ３の課題、言葉による意思伝達の不完全性、ガス業界の展望、プロ野球球団の経営戦略、ユニクロの経営戦略、パチンコ業界の知られざる裏側と問題点、Googleが支配する世界、道路交通制度の歴史、サッカー日本代表の軌跡と戦略、あんパンの今と昔、ゲーム業界の企業戦略、色彩とマーケティング、クルマと人の現状と未来、ビットコインについて、スポーツの経済効果、オタクと経済、紅茶が一般化しない理由　など

趣味・特技

趣味：ダイビング（Ｃライセンスは持っていますが、初級者レベルです）・スノーケリング（南の海でさんご礁やお魚を見ながらプカプカ浮いているのが好きです）、水泳（体型的に浮きやすいので、距離ならいくらでも??）、ボウリング（ガターにはならない程度）、読書（愛読書は児童書・絵本と日経サイエンスです）、洋裁（お友達に無理やり？誘われて始めました。ぶきっちょなので、ミシンに向かうと頭の中が真っ白になります）、編み物（いい先生に恵まれて、ぼちぼちとやっています）、ゴスペル（英語の歌詞を覚えるのに四苦八苦しています）

所属

経済学部（総合政策学部兼任）

所属学会

日本金融学会

専門分野

金融論、国際金融論

選考方法

①研究演習Ⅰ：以下の手順で行います。まずは、ゼミの個別ガイダンスに必ず出席してください。出欠をチェックしています。→選考は、書類審査のみによって行います。→演習申込書には成績表（コピー可）を必ず添付してください。成績表を添付していない場合は、書類不備で不合格になります。→申込書の内容と成績から総合的に判断します。ぜひ、皆さんの当ゼミへの熱い思いを大いに書いていただきたい。

②研究演習Ⅱ：研究演習Ⅰの成績がＣ、Ｄ判定の学生は、研究演習Ⅱの履修を認めない。他ゼミから当ゼミへの移籍を希望する場合は、研究演習Ⅰの成績がＢ判定以上であることを条件とし、書類審査によって選考する。所定の申請用紙に、成績表（コピー可）を必ず添付すること。

担当科目

教養特講（経済学科へのいざない）、教養技能ｂ（数的処理Ⅰ）、金融政策論、国際金融論、基礎経済学、特別セミナーⅢ、特別クラスⅣ、研究演習Ⅰ、研究演習Ⅱ、卒業研究、金融特論（大学院）

備考

ゼミ生から後輩たちへ

評価方法

研究演習Ⅰ・Ⅱ：出席状況を含めた平常点、報告内容、レポートなど課題に基づいて評価する。ただし、欠席が授業回数の3分の1以上に達した場合は、研究演習の単位取得を認めない。

卒業研究：出席状況を含めた平常点、報告内容、卒業論文に基づいて評価する。ただし、卒業論文を提出しない場合は、卒業研究の単位取得を認めない。